SAMPLE

RIM INTELLIGENCE CO.
フェアな価格　確かな信頼

バイオマス (固体)
Biomass (Solid)

試読　>

お申し込み　>

☆RIM BIOMASS INTELLIGENCE WEEKLY
★No. 252 Mar 6 2025
Copyright(C) 2025 Rim Intelligence Co. All rights reserved.
—TOKYO, 10:00 JST Mar 6 2025<Assessment Closing Time>
「リム価格」は登録商標です　登録番号・第5387777号

◎お知らせ

○エネルギー通信2月号の発行と「立ち寄りセミナー(オンデマンド)」のお知らせ

リム情報開発は20日、エネルギーの「いま」をまとめて把握できる季刊誌『エネルギー通信』23号を発行しました。今号では、政府が2月18日に閣議決定した第7次エネルギー基本計画の内容を整理したうえ、日本が重視していくことが示されたクリーンエネルギーの最新動向をまとめました。エネルギー通信はWEBで閲覧いただくことができます。

お申し込みはこちらから：　https://www.rim-intelligence.co.jp/report/nl/

また、エネルギー通信の内容を凝縮した「立ち寄りセミナー」を開催します。コロナ禍に始まった立ち寄りセミナーがオンデマンド形式で復活します。今号のポイントを整理しわかりやすく解説いたします。セミナーの詳細や視聴のお申込みはこちらから

https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/seminar20250219/

○PRA原則遵守に関する検証報告書の公開

リム情報開発は2024年12月19日、証券監督者国際機構(IOSCO)により定められた石油価格報告機関(PRA)に対する原則の遵守に関しまして、合理的保証に基づく検証報告書をウェブで公開しました。当社が発刊する全ての日刊レポートが対象となります。

<対象レポート>

バンカーオイル、原油・コンデンセート、アジア石油製品(Products)、LPG、ローリーラック、ジャパン石油製品、石油化学、LNG、電力

https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/pramenu4/

----------**リムレポートのご紹介**----------

リム情報開発のレポートラインアップは、下記のURLからアクセスください。各レポートのサンプルに加え、内容についての詳細な説明がご覧いただけます。

https://www.rim-intelligence.co.jp/report/

原油・コンデンセート	アジア石油製品	バンカーオイル	
ローリーラック(国内陸上)	ジャパン石油製品(国内海上)	LPG	LNG
石油化学	ポリオレフィン	電力	
バイオマス固体(週刊)	液体バイオ燃料(週刊)		
デイリーデータ	Rim Data File		
クリーンエネルギー(週刊)	CROSS VIEW 軽油/重油	エネルギー通信	

上記に関するお問い合わせは、TEL 03-3552-2411 E-mail info@rim-intelligence.co.jp

3F Yaesudori Hata Bldg, 1 Chome 9-8 Hatchobori, Chuo-ku, Tokyo Japan
Tel:81-3-3552-2411 Fax:81-3-3552-2415 e-mail:info@rim-intelligence.co.jp

◎Wood Pellets(木質ペレット $/mt)		
○FOB Southeast Asia Spot Prices for South Korea		
	Wood Pellets	Yen/mt
FOB spot prices (Apr)	135.00-140.00	20,367-21,122
FOB spot prices (May)	135.00-140.00	20,367-21,122
FOB spot prices (Jun)	135.00-140.00	20,367-21,122
○FOB Southeast Asia Spot Prices for Japan		
	Wood Pellets	Yen/mt
FOB spot prices (Apr)	143.00-148.00	21,574-22,329
FOB spot prices (May)	143.00-148.00	21,574-22,329
FOB spot prices (Jun)	143.00-148.00	21,574-22,329
○FOB North America(including southwest Canada) Spot Prices		
	Wood Pellets	Yen/mt
FOB spot prices (Apr)	165.00-175.00	24,894-26,402
FOB spot prices (May)	165.00-175.00	24,894-26,402
FOB spot prices (Jun)	165.00-175.00	24,894-26,402
○CFR Japan Spot Prices		
	Wood Pellets	Yen/mt
CFR Japan spot prices (Apr)	175.00-185.00	26,402-27,911
CFR Japan spot prices (May)	175.00-185.00	26,402-27,911
CFR Japan spot prices (Jun)	175.00-185.00	26,402-27,911
○Freight rates		
Southeast Asia to North Asia	27.00-30.00	
North America to North Asia	38.00-43.00	
TTS=150.87(3月5日、三菱UFJ銀行)		

◎PKS (パーム椰子殻 $/mt)		
○FOB Indonesia Spot Prices		
	PKS	Yen/mt
FOB spot prices (Apr)	-2 99.00-101.00 -4	14,936-15,238
FOB spot prices (May)	-2 99.00-101.00 -4	14,936-15,238
FOB spot prices (Jun)	99.00-101.00	14,936-15,238
○FOB Malaysia Spot Prices		
	PKS	Yen/mt
FOB spot prices (Apr)	90.00-95.00	13,578-14,333
FOB spot prices (May)	90.00-95.00	13,578-14,333
FOB spot prices (Jun)	90.00-95.00	13,578-14,333
○CFR Japan Spot Prices		
	PKS	Yen/mt
CFR Japan spot prices (Apr)	-3 125.00-135.00 -3	18,859-20,367
CFR Japan spot prices (May)	-3 125.00-135.00 -3	18,859-20,367
CFR Japan spot prices (Jun)	125.00-135.00	18,859-20,367
○Freight rates		
Southeast Asia to North Asia	30.00-33.00	
TTS=150.87(3月5日、三菱UFJ銀行)		

レポートに掲載の情報の著作権はリム情報開発(株)に帰属します。無断転送、転載は著作権法により禁止されています。

◎国産材(Yen/mt)

○Japan Domestic price (in Yen/mt)

	未利用材原木	未利用材チップ
北海道東北	6,900-7,900	9,900-10,900
関東甲信越	7,000-7,500	10,000-10,500
北陸中部	7,300-8,300	10,300-11,300
関西	8,000-9,000	11,000-12,000
中国四国	6,800-7,800	9,800-10,800
九州沖縄	7,600-8,600	10,600-11,600
（注記）未利用材チップの価格評価の対象は水分 50%前後		

◎木質ペレット

○概況

東南アジア積みは、韓国、日本向けともに横ばい。ただし、供給引き締まりから相場の基調強い。北米積み、日本着も前週からもち合った。フレートは、東南アジアと日本間、北米と日本間とも前週並みを維持した。

○FOB 東南アジア

東南アジア積み木質ペレットは韓国向け4～5月積みが135.00～140.00ドルと前週から横ばい。6月積みも135.00～140.00ドルとなった。

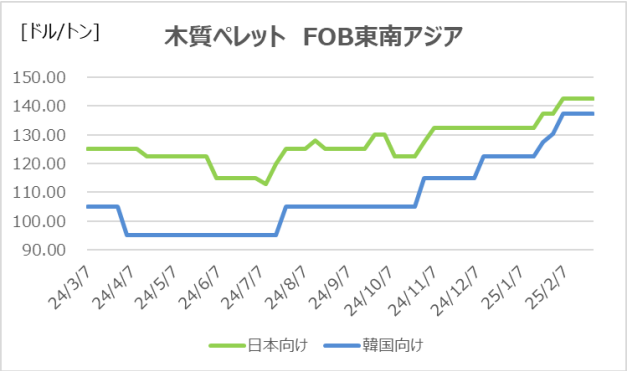
既報のとおり、韓国ではロシア品の流通が減っており、韓国の市場関係者は東南アジア品に買い気を示しているようだ。日本と韓国では求める品質が異なるとはいえ、東南アジア品の品薄感を強める要因のひとつにもなっているとの指摘もある。

日本向けの4～5月積みは143.00～148.00ドルと前週から変わらず。6月積みも143.00～148.00ドルとなった。

日本向けの相場は引き続き底堅く推移した。日本のトレーダーによると、成約水準は140ドル台半ばとの声がある。ペレットの主要な産地であるベトナム中部は多雨の影響で集材や積み出しが困難を極めており、供給のタイト感が出ている。韓国のプレーヤーによる東南アジア品の調達もタイト感の一因とされている。2025年度から日本では新規発電所が続々と稼働を始めるなか、底堅い相場となっているようだ。

一方、調達可能な買い手は限られるものの、140ドル程度の売りを検討するサプライヤーも見受けられた。ただ、足元で需給にタイト感があるなかで、こうした玉の流通量は限られている可能性がある。

市場関係者によると、2022年に認証偽装問題を起こしたベトナムの大手バイオマス供給業者が、2025年2月中に少なくとも3万トンを日本向けに輸出していたようだ。これは同社がFSC認証ブロックを解除されてから初という。同社からの輸出の動きが生じたことを背景に、「2025年は同社の輸出が再び活発になるとの観測もある」(ベトナムのトレーダー)。認証偽装問題を起こして以来、同社からの調達を避ける需要家もいる一方で、偽証問題を気にせずに供給大手である同社からの玉を引き取る買い手も一定数いるとの見方も上がる。



レポートに掲載の情報の著作権はリム情報開発(株)に帰属します。無断転送、転載は著作権法により禁止されています。

3F Yaesudori Hata Bldg, 1 Chome 9-8 Hatchobori, Chuo-ku, Tokyo Japan
Tel:81-3-3552-2411 Fax:81-3-3552-2415 e-mail:info@rim-intelligence.co.jp

○FOB 北米

北米積み木質ペレットは4～5月積みがいずれも165.00～175.00ドルと、前週から変わらず。6月積みも165.00～175.00ドルとなった。

北米品のスポット商談は聞かれず。FOB価格、フレートを考慮すると、アジア地域では北米品は東南アジア品に比べて競争力が乏しい。北米のサプライヤーはターム品に注力せざるを得ない状況が続いている。北米品の主要な持ち込み先である欧州でも、冬場需要期に在庫の消化が進まず、新規スポット玉の調達は盛り上がりを欠いているようだ。

○CFR 日本

日本着の木質ペレット相場は、4～5月着が175.00～185.00ドルと前週から変わらず。6月着も175.00～185.00ドルとなった。

東海地方のバイオマス発電所向けの買い付け入札について、180ドル以下で落札されたようだとの見方が伝えられた。納期については買い手が選択可能となっているもよう。

PKS 日本向け　買い付け入札表

エリア	積/着	積/着 時期	数量(トン)	締切日	結果	価格(ドル/トン)
東北	着	25 年 5～6 月	10,000		落札	
東北	着	25 年 4 月末	10,000	25 年 2 月 28 日		
東海	着		10,000	25 年 2 月 28 日		
関東	着	25 年 5 月	10,000	25 年 2 月 28 日		
関西	着	25 年 4～7 月	最大　30,000	25 年 2 月 14 日		

○フレート

ベトナムと日本間のフレートは 27.00～30.00 ドルと前週から横ばい。北米と日本間のフレートも 38.00～43.00 ドルと前週並みとなった。

このところスポット取引は限られており、傭船の商談水準にも変化が見られなかった。

レポートに掲載の情報の著作権はリム情報開発(株)に帰属します。無断転送、転載は著作権法により禁止されています。

◎PKS

○概況

インドネシア積みは軟化。需給緩和感で相場が切り下がった。日本着もこれに引き摺られ下落した。一部の発電事業者がタイ積み PKS を調達したと伝えられている。マレーシア積みは割安感から買い手が見えており、相場が支えられているようだ。

○FOB 東南アジア

インドネシア積みPKSは4～5月積みがそれぞれ99.00～103.00ドルと前週から3.00ドル安となった。需給緩和感が背景。6月積みも99.00～103.00ドル。

インドネシア積みでは、売り手は100ドル強での販売を打診している一方、買い手は100ドル割れでの調達を検討。100ドルを挟んだ水準で商談が展開されている。カリマンタン島出しでは100ドルでの販売打診が聞かれ始めている一方、スマトラ島出しでは100ドル超えが一般的。105～110ドルで販売打診するサプライヤーも見られるが、日本の商社は発電事業者向けにFOBベース100ドル相当で売り込むことを検討しており、この水準での妥結は困難とみられている。

インドネシアのサプライヤーは全体的に在庫が高く、相場に下押し圧力がかかっているという。さらに、日本向けの輸出実績を積み上げるべく、カリマンタン島のサプライヤーが売り込みを強めていると伝えられた。これらのサプライヤーは国内向けの販売に注力していたが、第三者認証の取得を終えたことで日本向けの販売に関心を示している。ただし、これらサプライヤーの年間の供給能力は10万トンに満たないため、ターム供給契約を結んでおらず、スポットでの販売に注力しているようだ。売り気の強さに加え、カリマンタン島出しのPKSはスマトラ島出しと比べてデュラ種の割合が小さいために、割安な価格で販売打診されるケースがあると伝えられた。

一方、マレーシア積みの割安感から、インドネシア積みに対する買い気は弱そうだ。複数の日本の発電事業者が買い付け入札を通じ、マレーシア積みやタイ積みのPKSを調達したと伝えられている(「CFR日本」欄参照)。ただ、木質ペレットの需給にタイト感があり、相場が高止まりしていることから、PKSへの代替需要が見込め、相場の基調が変わる可能性もあるとみる向きもいた。

インドネシア積みPKS関税の推移

(ドル/トン)	輸出税	レビー	合計
25年1月(1月1～31日)	10	3	13
25年2月(2月1～28日)	8	3	11
25年3月(3月1～31日)	8	3	11

インドネシアから3月に輸出されるPKSに賦課される関税は、輸出税がトンあたり8ドル、パーム産業目的基金(レビー)は同3ドルといずれも前月から据え置かれ、関税額は合計同11ドルだった。

インドネシア政府は2月27日、輸出税の算定基準となるパーム原油(CPO)基準価格を発表した。3月分はトンあたり954.50ドルと、前月分の955.44ドルと比べ0.94ドル小幅に下がった。この結果、PKSの輸出税額は、CPO基準価格がトンあたり930～980ドルの場合に賦課される同8ドルのままとなった。

インドネシア政府は石油・天然ガス部門以外の輸出企業に対し3月1日から最低1年間、輸出収益の全額を国内銀行に保管することを義務付けるとの内容で、政府規則を改定した。これにより、一部のサプライヤーが金利負担分の輸出価格への上乗せを模索していたようだ。さらに、2月中にドルベースで売り上げるべく、一部の商社に対しPKSの引き渡しの前倒しを要求していた向きもいたという。

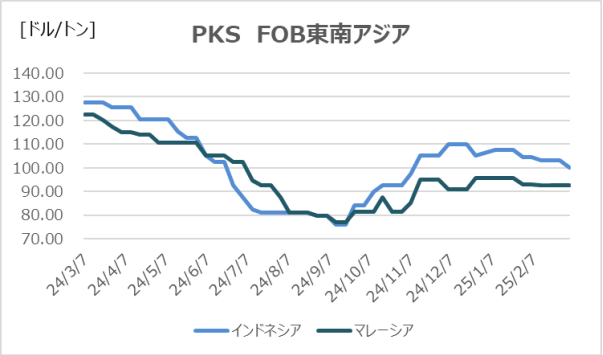
レポートに掲載の情報の著作権はリム情報開発(株)に帰属します。無断転送、転載は著作権法により禁止されています。

日本の商社の一部がこれに応じたもよう。

マレーシア積みPKSは4～5月積みがいずれも90.00～95.00ドルと前週からもち合い。6月積みも90.00～95.00ドルとなった。

マレーシアでも、売り手が多い様子。大半の売唱えは90ドル台半ば～100ドルで聞かれているが、一部のサプライヤーは90ドルで販売可能との情報も伝えられた。これに対し、90ドルで販売打診があった場合、商談入りを希望する商社もみられた。

需要面では、日本の発電事業者の買い関心がマレーシア積みに向いているもよう。大手発電事業者1社は4月マレーシア積みPKSを、FOBベース90ドル台買い付けたようだ。



○CFR 日本

日本着のPKS相場は4～5月着が125.00～135.00ドルと前週から3ドル下落した。インドネシア積みの供給過剰で相場が圧迫された。同国積みはフレートを考慮しても135ドルで仕上がる環境になっているようだ。マレーシア積みは、インドネシア積みより10ドル程度割安に推移しているとの見方が寄せられた。6月着は125.00～135.00ドル。

大型バイオマス発電所の計画外停止が弱材料として作用した面もある。森林火災の被害が拡大している岩手県大船渡市で、大船渡バイオマス発電所(出力7万5,000kW)が2月28日に稼働を停止した。大船渡市が避難指示を発令したことにより従業員が避難したためだ。3月4日時点で稼働は再開していない。同発電所は太平洋セメントが65%、イーレックスが35%出資する。主燃料にPKSを使用する。稼働停止が長引けば、PKSの余剰につながる可能性がある。

稼働が安定しない発電所も散見される。大手発電事業者1社が東海エリアにある大型発電所向けの買い付け入札を実施していた。4月、5月納めの計2隻が対象だったが、結果的に4月の1隻のみの調達にとどまったもよう。同発電所は稼働が安定せず、スポットの調達意欲がいまひとつ盛り上がりに欠けるとの見方が寄せられた。なお、落札価格はマレーシア積みがFOBベース90ドル台だったようだ。

上記の発電事業者は東北にある大型発電所向けについても買い付け入札を実施していたようだ。5～6月納入分が対象とされた。落札結果の詳細は不明ながら、一部タイ積みの玉が応札されたようだ。財務省貿易統計によると、タイからは2023年6月、2024年6月、同年9月にそれぞれ約1万トンずつ輸入された実績がある。2023年6月分は161ドル台だったが、ドル高・円安が急速に進んだ2024年6月、9月分はいずれも147ドル台で輸入されていた。固定価格買取(FIT)制度の下、ドル高・円安の進行でドルベースの燃料調達価格が抑え込まれる傾向がある。

大手ガス会社が関西にある大型発電所向けに買い付け入札を実施していたのは、既報どおり。対象はペレット2隻とPKS3隻分の計5隻。まとめて応札することが求められている。PKSの1隻分については引き取りが買い手側のオプションとの条件が付されているようだ。こうした条件で販売に応じるのは売り手にとって相当リスキー

レポートに掲載の情報の著作権はリム情報開発(株)に帰属します。無断転送、転載は著作権法により禁止されています。

とされる。2月14日に応札は締め切られたが、条件をめぐる交渉が難航しているとみられ、妥結には至っていない様子だ。

同ガス会社も出資する関東の発電所向けの買い付け入札の応札もこのほど締め切られたようだ。5月分が対象。結果の詳細は伝わっていない。

PKS 日本向け　買い付け入札表

エリア	積/着	積/着 時期	数量(トン)	締切日	結果	価格(ドル/トン)
東北	着	25 年 5～6 月	10,000		落札	
東北	着	25 年 4 月末	10,000	25 年 2 月 28 日		
東海	着	25 年 4 月	10,000	25 年 2 月 28 日	落札	
関東	着	25 年 5 月	10,000	25 年 2 月 28 日		
関西	着	25 年 4～7 月	最大　30,000	25 年 2 月 14 日		

○フレート

インドネシアと日本、マレーシアと日本間のフレートは30.00～33.00ドルと前週から横ばいとなった。市場関係者によると、インドネシア積み日本間の商談は30ドル台前半で展開されている。一方、マレーシア積み日本間はこれを数ドル下回る水準で傭船可能とみられる。

◎国内市場

○市況(3 月 6 日時点)

国内の未利用材原木は北海道東北が 6,900～7,900 円、関東甲信越が 7,000～7,500 円、北陸中部が 7,300～8,300 円、関西が 8,000～9,000 円、中国四国が 6,800～7,800 円、九州沖縄が 7,600～8,600 円。

未利用材由来の木質チップは北海道東北が 9,900～10,900 円、関東甲信越が 10,000～10,500 円、北陸中部が 10,300～11,300 円、関西が 11,000～12,000 円、中国四国が 9,800～10,800 円、九州沖縄が 10,600～11,600 円で推移している。

○トピックス

【東北】

岩手県の原木市況は昨年末並みで足踏みしている。バイオマス発電所向けの引き合いは堅調で需給バランスがタイトな半面、発電所側の採算を考慮すると、林業事業者側も値上げを強くは求めにくい部分があるという。原木市況は現在、未利用材がチップ工場着 7,000～8,000 円で推移。需給のタイト感を映し、同 8,500 円など一段高い取引も進んでいるが、全体的にみて主流の商談水準ではなさそうだ。未利用材由来のチップは含水率 50%でバイオマス発電所着 10,500 円程度。

また一般材原木は針葉樹がチップ工場着 5,000～6,000 円に対し、広葉樹は同 10,000 円近くまで上昇している。地元の製紙大手向け需要が旺盛だからだ。全体的に一般材も品薄感が強く、発電所としては未利用材不足に困っても一般材で不足分をカバーしにくい側面がある。

岩手県大船渡市では 2 月 26 日、大規模森林火災が発生し現時点でも鎮火が確認されていない。地元林業への影響はいまのところ未知数。業界関係者によると、火災地域にあった「林業機械が少なくとも 4 台焼失したほか、立木も燃えている」。原木生産に使う林機、伐採対象である

レポートに掲載の情報の著作権はリム情報開発(株)に帰属します。無断転送、転載は著作権法により禁止されています。

立木が減れば、その分、未利用材を含む原木供給に支障をきたす可能性がある。現時点で製材工場の被災は伝わらないが、仮に影響が出れば製材向け原木需要が減り、周辺の原木生産を下押しする懸念も聞かれた。大船渡市は周辺自治体にある製材工場向けの原木生産が比較的盛んという。この他、火災発生が響き大船渡バイオマス発電所は2月28日で運転を止めた。市が発令した避難指示を受け、従業員が退避したからだ。同発電所は主に輸入バイオマス燃料を使用するため、国産材への影響は限定的となりそうだ。

業界関係者によると、岩手県では県北地域にある出力1万4,000kWのバイオマス発電所が1月ごろ2週間ほど運転停止したようだ。発電設備に燃料を送り込む「搬送系」の設備トラブルが起きたためだ。トラブルはすでに解消し、現在は通常運転に戻っている。

(註)国内市場の項目では、動きのある地域の話題を随時掲載して参ります。

◎マーケット・ニュース

○レノバ=唐津バイオマスの営業運開を延期、25年9月まで

レノバは3日、佐賀県唐津市で建設している「唐津バイオマス発電所」(出力4万9,900kW)の営業運転開始時期を当初予定の2025年3月から同年9月へ延期すると発表した。発電所の安定稼働に向けたボイラー、タービン設備の調整に時間を要しているためだ。同発電所は木質ペレット、パーム椰子殻(PKS)を燃料に使う。

○イーレックス=大船渡バイオマス発電所が運転停止、森林火災の影響で

イーレックスは3日、大船渡バイオマス発電所(岩手県大船渡市、出力7万5,000kW)が2月28日21時05分付で運転を停止したと発表した。市内で発生した森林火災で市が避難指示を出しており、発電所の従業員らが退避しているためだ。3月4日夕刻時点でも発電所は運転停止中で再開のめどは立っていない。

◎統計

○日本の港別木質ペレット輸入量、輸入単価25年1月

440131000 木質ペレット

揚げ地	仕出国	2025年1月		
		数量(mt)	価格(千円)	単価(円/mt)
東京(本関)	ベトナム	287	6,231	21,711
	インドネシア	356	9,210	25,871
	リトアニア	2	216	108,000
成田	ベトナム	1	486	486,000
酒田	ベトナム	10,579	327,738	30,980
横浜(本関)	ニュージーランド	23	2,412	104,870
千葉	ベトナム	39,940	1,379,746	34,545
相馬	カナダ	10,452	409,192	39,150
神戸(本関)	ベトナム	25	623	24,920
	カナダ	74	2,809	37,959
大阪(本関)	中国	87	6,330	72,759

レポートに掲載の情報の著作権はリム情報開発(株)に帰属します。無断転送、転載は著作権法により禁止されています。

伏木	ベトナム	10,375	304,709	29,370
名古屋(本関)	中国	6	527	87,833
	インドネシア	130	3,105	23,885
豊橋	ベトナム	10,600	339,455	32,024
四日市	ベトナム	14,398	393,689	27,343
苅田	ベトナム	28,456	908,008	31,909
博多	ベトナム	48	1,536	32,000
徳山	ベトナム	13,500	372,858	27,619
八代	ベトナム	27,500	691,823	25,157
	マレーシア	10,830	332,480	30,700
志布志	インドネシア	26	611	23,500
川内	インドネシア	285	7,451	26,144
苫小牧	ベトナム	79	3,375	42,722
	マレーシア	25	664	26,560
	カンボジア	156	6,710	43,013
	カナダ	272	13,054	47,993
	米国	279	13,634	48,867
小樽	中国	4	345	86,250
八戸	マレーシア	222	5,583	25,149
出所:財務省・貿易統計				

○日本の港別PKS輸入量、輸入単価25年1月

230660000（パーム油かす及びパーム核油かす）

揚げ地	仕出国	2025 年 1 月		
		数量(mt)	価格(千円)	単価(円/mt)
仙台塩釜	マレーシア	10,301	185,527	18,011
神戸(本関)	マレーシア	35	1,710	48,857
衣浦	マレーシア	20,687	347,085	16,778
四日市	インドネシア	10,999	298,872	27,173
鹿児島	インドネシア	5,000	133,922	26,784
室蘭	インドネシア	31,923	752,110	23,560
出所:財務省・貿易統計				

140490200（雁皮並びにナット（殻を含むものとし、粉砕してあるかないかを問わない。）及び種）

揚げ地	仕出国	2025 年 1 月		
		数量(mt)	価格(千円)	単価(円/mt)
東京(本関)	タイ	30	5,543	186,257
	インドネシア	115	4,167	36,172
鹿島	インドネシア	10,500	199,740	19,023
姫路	インドネシア	31,700	643,855	20,311
境	インドネシア	10,400	269,989	25,960
大阪(本関)	タイ	18	1,310	72,778
	マレーシア	18	6,748	374,889
	インドネシア	120	3,703	30,858
名古屋(本関)	タイ	71	3,549	50,184
	インドネシア	74	2,280	30,711
豊橋	マレーシア	10,300	205,714	19,972

レポートに掲載の情報の著作権はリム情報開発(株)に帰属します。無断転送、転載は著作権法により禁止されています。

	インドネシア	5,501	147,333	26,784
博多	タイ	31	4,425	140,789
釧路	マレーシア	10,500	185,319	17,649
大船渡	マレーシア	10,051	213,712	21,263
	インドネシア	21,000	558,904	26,614
出所:財務省・貿易統計				

◎入札情報

開札日	公開日	主体	場所	数量(kg)	用途	契約期間	落札者	単価/kg 税抜/円	入札方法
2024年									
2/22 (木)	2/7 (水)	秋田市	市本庁舎など4カ所	126,100	ボイラーなど	2024/4/1～2025/3/31	北秋容器	73.0	一般競争
3/18 (月)	2/19 (月)	北海道	社会福祉事業団太陽の園	180,000	ボイラーなど	2024/4/1～2025/3/31	早坂商会	40.0	一般競争
3/14 (木)	2/28 (水)	山口県立病院機構	こころの医療センター	54,600	ボイラー用	2024/4/1～2025/3/31	岩国再生エネルギー	53.0	一般競争
3/22 (金)	3/1 (金)	山形県	北村山地域振興局	90,000	ボイラー用	2024/4/1～2025/3/31	非公開	-	一般競争
3/22 (金)	3/12 (火)	福井県	芦原青年の家	18,000	ボイラー用	2024/4/1～2025/3/31	坂井森林組合	50.0	一般競争
3/28 (木)	3/25 (月)	永平寺町	上志比文化会館など2カ所	42,836	ボイラー用	2024/4/1～2025/3/31	福井環境エコノス	48.0	指名競争
6/6 (木)	5/29 (水)	富山市	上滝中学校	17,000	ボイラー用	契約締結日～2025/3/31	丸新志鷹建設	60.0	指名競争
5/23 (木)	5/16 (木)	富山市	大山会館	46,000	ボイラー用	契約締結日～2025/3/31	丸新志鷹建設	60.0	指名競争
7/1 (月)	6/11 (火)	山形県	庄内総合支庁	145,600	ボイラー用	契約締結日～25/3/31	渡会電気土木	57.0	一般競争
8/8 (木)	8/1 (木)	札幌市	小中学校11カ所	347,999	ボイラー用	2024/10/1～2025/3/31	イワクラ	68.0	一般競争
10/28 (月)	10/3 (木)	農林水産省	宗谷森林管理署	750	ボイラー用	2024年12月まで	真貝林工	111.0	一般競争
10/29 (火)	10/10 (木)	農林水産省	上川南部森林管理署	200	ボイラー用	2024年12月まで	あすなろサッポロ	126.0	一般競争
10/29 (火)	10/22 (火)	札幌市	山本処理場	10,000	ボイラー用	契約締結日～2025/3/31	イワクラ	68.0	公開見積合せ
11/13 (水)	10/29 (火)	福井県	総合グリーンセンター	70,000	ボイラー用	契約締結日～2025/3/31	中西木材	49.0	一般競争
開札日	公開日	主体	場所	数量(kg)	用途	契約期間	落札者	単価/kg 税抜/円	入札方法
2025年									
2/19 (水)	1/31 (金)	秋田市	市本庁舎など4カ所	128,050	ボイラーなど	2025/4/1～2026/3/31	北秋容器	77.0	一般競争
3/18 (火)	2/18 (火)	北海道	社会福祉事業団太陽の園	170,000	ボイラーなど	2025/4/1～2026/3/31	未開札	-	一般競争
3/21 (金)	3/3 (月)	山形県	北村山地域振興局	90,000	ボイラー用	2025/4/1～2026/3/31	未開札	-	一般競争
3/17 (月)	3/4 (火)	山口県立病院機構	こころの医療センター	56,280	ボイラー用	2025/4/1～2026/3/31	未開札	-	一般競争

◎リムエネルギー総合指数22種(レックス22、2010年平均＝100)

6 日のレックス 22 は 163.19 です。

リムエネルギー総合指数 22 種（レックス 22）は物価や景気動向に大きな影響を与えるエネルギー商品に着目した指数です。

レックス 22 の詳細は下記リンクよりご確認ください。

https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/recx22/index.php?recx=on

◎季刊誌『エネルギー通信』第 22 号発売のお知らせ

リム情報開発は 2024 年 11 月 20 日、エネルギーの「いま」をまとめて把握できる季刊誌『エネルギー通信』第 22 号を発行しました。今号では、バイオディーゼルや持続可能な航空燃料(SAF)などの次世代燃料に焦点をあて、世界的な状況をまとめました。また、新たなバイオ原料開発の最新事情についても取り上げています。『エネルギー通信』第 22 号でぜひご覧下さい。

『エネルギー通信』は、WEB で閲覧いただくことができます。

URL: https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/eneletter/

エネルギー通信チーム TEL: 03-3552-2411 / Email: info@rim-intelligence.co.jp

◎『液体バイオ燃料レポート』発刊のお知らせ

レポートに掲載の情報の著作権はリム情報開発(株)に帰属します。無断転送、転載は著作権法により禁止されています。

リム情報開発は 2024 年 10 月 23 日(水)、農作物や廃食油などを原料として製造した液体バイオ燃料の価格評価や市場動向を掲載する週刊『液体バイオ燃料レポート』を発刊いたしました。環境問題に対する関心が高まるなか、二酸化炭素(CO2)の排出を実質的に抑え、環境負荷を減らすバイオディーゼルや持続可能な航空燃料(SAF)などにますます注目が集まっています。新レポートでは、市場関係者の皆様に役立つ最新情報をいち早くお伝えしてまいります。

掲載するのは原料となるエタノールや廃食油、船舶燃料のバイオバンカーの取引価格に加え、航空燃料の SAF、自動車燃料のバイオディーゼルの最新動向です。このほか各種貿易統計、入札情報などを随時掲載いたします。

『液体バイオ燃料レポート』は毎週水曜日に発刊いたします。価格は毎月 21,000 円（税別）です。下記のリンクよりお申し込みください。

https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/bio1/

◎電力データ CD・2023 年度版の販売開始について

リム情報開発は、電力入札データの 2023 年度版 CD を 2024 年 7 月 17 日から販売開始しました。初版となる 2014 年度版のリリース以来、各方面からご好評をいただいております電力入札データの 2023 年度版となります。最新版では、2023 年 4 月から 2024 年 3 月までの 1 年間に、全国の公共機関が公募した電力調達について、詳細な情報を提供いたします。2023 年度版は、収集件数 4,071 件(昨年度 4,168 件)で、うち比較可能なデータは 2,058 件(同 1,000 件)です。

※「比較可能データ」：予定供給量、契約電力、契約金額がそろった案件を集計(入札不調、入札条件が不明などの案件は除外)

関連記事

https://www.rim-intelligence.co.jp/news/data/1777043.html

お申込みこちらへ

https://www.rim-intelligence.co.jp/contact/form/powerData.html

◎リム創業 40 周年記念本『エネルギーの歩み』発売のお知らせ

リム情報開発株式会社は 2024 年 2 月、創業 40 周年を記念し、『エネルギーの歩み』を刊行いたします。石油メジャーの誕生から脱炭素化に至るまで、エネルギーの歴史をわかりやすくひも解くとともに、リムならではの市況解説もふまえた充実の一冊です。原油、石油製品、LNG、LPG の貿易統計に加え、年表も資料として掲載しており、業務や勉強に幅広く利用していただけます。この機会にぜひお申し込みください。

https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/40book/

◇

※リムレポートの転送は著作権により堅く禁じられております。購読契約者である組織以外だけでなく、同契約者の組織内の他部署、支社、支店などへの転送も出来ません。本レポートの全部もしくは一部の転載も禁じられています。著作権違反が発覚した場合、違約金が発生することがあります。本レポートに記載された情報の正確性については万全を期しておりますが、購読者が本レポートの情報を用いて行う一切の行為に関して、リム情報開発株式会社は責任を負いません。また、天災、事変その他非常事態が発生し、または発生するおそれがあり、運営が困難となった場合、レポート発行を一時的に中断することがあります。

事業所一覧

[東京本社] Tel:03-3552-2411, Fax:03-3552-2415
e-mail: info@rim-intelligence.co.jp

[シンガポール支局] Tel: (65)-6912-7359
e-mail: lim@rim-intelligence.co.jp

[北京支社] Tel:(86)10-6498-0455, Fax:(86)10-6428-1725
e-mail: ma@rim-intelligence.co.jp huo@rim-intelligence.co.jp

[上海支社] Tel:(86)-21- 6760 6330/6331, e-mail:rim_sh@rim-intelligence.co.jp

(C) 2025 RIM INTELLIGENCE CO.

試読 >

お申し込み >

レポートに掲載の情報の著作権はリム情報開発(株)に帰属します。無断転送、転載は著作権法により禁止されています。